

# 御荘文化センター 図書室だより

発行\*御荘文化センター図書室 発行日\*令和3年9月1日

風の中に少しずつ秋を感じるようになってきました。高く澄んだ空に、澄みきった心で一日をはじめられる好季節です。秋はのんびり読書をしてはいかがでしょうか。

御荘文化センター図書室には毎月新着図書が並びます。また図書室にはティーンズコーナー(中学生にとくに読んでもらいたい本)もあります。

もちろん中学生以外の子どもから大人の方にも楽しんでもらえる本が並んでいるので、ぜひこちらのティーンズコーナーもチェックしてください。

## ◇【お知らせ】御荘文化センター夜間開放が開始されます◇

2021年9月1日(水)から御荘文化センター内に机や椅子が置かれ、読書や勉強、休憩などができるスペースができました。

高校生などの安全な居場所や自主学習する場所を確保するため午後8時まで開放しています。すべての町民の方の居場所になりますので、待ち合わせや読書、ワークスペースなど自由にご利用ください。

図書室も開放スペースの時間に合わせて利用時間が延長されます。貸出、返却が午後8時まで可能になりますが、質問や協力貸出などは基本的には日中、職員にご相談ください。

マナーを守って皆さんが気持ちよく利用できるようにご協力お願いいたします。

夜間開放時間中は図書室か事務室に管理人が常駐していますので、困ったことや不審な点があればお申し出ください。

## 9月

○→休室日

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

## 利用案内

【利用者カードが作れる人】

愛南町在住、在学、在勤の全年齢

※初めての貸出する方は、利用者登録をしてください。

【貸出期間】 2週間

【貸出冊数】 3冊まで

詳細は「御荘文化センター図書室の利用案内」をご覧ください。

【開室時間】 9時～17時

【休室日】 火曜日(火曜日が祝日の場合は、翌開室日が休室)、年末年始、選挙投票日

## 児童展示コーナー

9月20日は「敬老の日」

9がつの「じどうてんじ」は

おじいちゃんおばあちゃんがててくるえほんだよ

「敬老の日」は、おじいちゃん、おばあちゃんに

「ありがとう」のきもちをつたえる日です。

声にだして「ありがとう」の

きもちをつたえてみよう。

ちかくにいないおじいちゃんおばあちゃんには

てんわやごころのなかで、きもちをつたえてみてね。

場所: 棚9 えほんコーナーのたなのうえ

## 一般展示コーナー

9月一般展示

愛南町を支える水産業と農業を、「海×農」をテーマに本を集めてみました。町を支える産業について考えてみませんか？

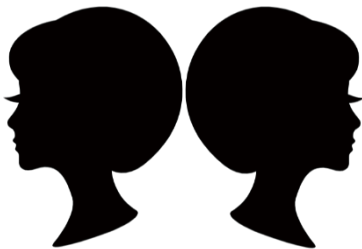


海、農業をテーマにした小説なども集めています。気軽に読みたい方は、こちらどうぞ。

場所: 図書室入口付近 新着図書コーナー裏

# 新着図書紹介

社会科学 331.6		児童書 (J)	
『人新世の「資本論」』	斎藤 幸平	『表・グラフの読み方・作り方』	
小説 913.6 / 947		『料理はすごい!』	
『氷柱の声』	くどう れいん	『小学生にもとれる! 資格・検定カタログ』	
『貝に続く場所にて』	石沢 麻依	『SDGsのきほん 9』	稲葉 茂勝
『彼岸花が咲く島』	李 琴峰	『SDGsのきほん 10』	稲葉 茂勝
『水たまりで息をする』	高瀬 隼子	『SDGsのきほん 11』	稲葉 茂勝
『オーバーヒート』	千葉 雅也	『SDGsのきほん 12』	稲葉 茂勝
『絶望名人カフカ×希望名人ゲーテ』	頭木 弘樹	『SDGsのきほん 13』	稲葉 茂勝
エッセイ 914.6		ティーンズ (Y) 913.6	
『ベンチの足 考えの整理』	佐藤 雅彦	『羊の告解』	いとう みく
マンガ (M)		『南総里見八犬伝 1 結城合戦始末』	松尾 清貴
『深夜食堂 19』	安部 夜郎	『南総里見八犬伝 2 犬士と非犬士』	松尾 清貴
絵本 (E)		『南総里見八犬伝 3 美女と悪女』	松尾 清貴
『ほら、ぼくはここにいるよ』	オリヴァー・ジェファーズ	『南総里見八犬伝 4 南総騒乱』	松尾 清貴
『ねこは るすばん』	町田 尚子	『南総里見八犬伝 5 八犬具足』	松尾 清貴



## 『絶望名人カフカ×希望名人ゲーテ 文豪の名言対決』

頭木 弘樹／編著 947/カフ

「希望は生きるのを助けてくれます」(ゲーテ)×「朝の希望は、午後には埋葬されている」(カフカ)  
どこまでも前向きはゲーテと、どこまでも後ろ向きなカフカの言葉を前にして、あなたの心に響くのはどちらでしょうか？

絶望から希望をつかもうとしている人、あるいは逆に、希望に満ちていたけど、少し疲れてしまった人のための「希望と絶望の『闇の本』があってもいいのではないかと思います。ゲーテが希望を語り、カフカが絶望を語り、読者の皆さんがそれぞれに心に響く言葉を見つけ出すことができる」(本文より)

(引用：出版データベース)

## 『羊の告解』

いとう みく／著 Y913.6/イミ

【告解】罪を告白し、神に許しを求めること一。

しかし、父が犯した罪は中学3年生の息子が思っていた以上に重かった。

人を殺した父は、そしてその息子は、許されることを願ってもいいのだろうか…。

ある日突然「加害者家族」となった少年の、再生とゆるしの物語。

